

高田援護室長の模型部屋(第6回)

皆さんこんにちは！今年の夏休みはいかがお過ごしでしたか？早朝からのオリンピック中継に眠い毎日を過ごされた方も多いのでは。

私は長女とネズミーシー(笑)と靖國神社への参拝に行くという両極端な過ごし方でした。次女は北海道の親戚の家にお泊りに行くと、我が家も充実した夏休みでした。

で、プラモ製作についてもボチボチと進むことが出来まして、今回は…

3 1/2tトラック(新型)です。



自衛隊車両の中でも最もポピュラーなこの車両、平素の訓練はもちろん、災害派遣では隊員や資材を積載して派遣されるため、テレビでも良く見られる車両です。

キットはピットロードさんのレジンキャスト製のキットで、春に秋葉原に行ったときに26000円もする高価なこのキットを発見！私の防衛費をかなり圧迫しましたが、なかなか手に入るものではないので、即断即決で購入してしまいました。しばらくしたら通常のプラモデルとして販売されるかもしれないのですが、この手のキットは一期一会ですので、勇気を出して購入しました。

熊本地震の際、高田駐屯地から第2普通科連隊をはじめとする各部隊が派遣されました。全国の部隊からも派遣され、「災害派遣 ○○連隊(××駐屯地)」などと白い横断幕を掲示して駆けつける車両の中、第2普通科連隊は「災害派遣 第2普通科連隊」のみの表記。着任されたばかりの連隊長が「どうしてうちの連隊は駐屯地名を記入しないのか」と隊員に聞いたところ、「被災者にしてみれば自衛隊はどこも同じ。遠くから駆けつけたような恩着せがましいことは、新潟県人はしないのです。」と答え、上杉家の「義」の心を持つ隊員達に感動したとの連隊長の言葉を思い出しました。余談ですが…



自衛隊車両ファンの中でも、このキットを待ち望んでいた方は多いのでは。他のスケールでは発売されていますが、やはり他の自衛隊車両と並べてみたいもの。1/35の登場に感激してしまいます。

私はこのタイプの前の車両を操縦していたので、新型の操縦経験はあまり無いんですが、MTからATになったので操縦はし易くなったのは確かですね。今まで付いてなかったAMラジオも付いたし、少しは運転しながら気がまぎれるようになりました。



幌の窓についている硬質ビニールの表現には手芸で使用するUVレジンを使用しました。表側にセロハンテープを貼り付けて蓋をし、裏面にレジンを流し込み日光で固定化させました。これにより表面が波打ちフィルムの表現が出来、透明プラ板を加工するよりずっと楽です。

固着後、ウェザリングスティックで埃をのせて光沢を消し、さらに使い込んだ表現にすることが出来ました。実はこの技、娘達から教わりました。アクセサリを作るときにUVレジンを使うのだそうで、娘を育ててよかったと思った瞬間でした(笑)

どうですか？フィルム感が出てますかね・・・



車体の色はGSIクレオスの自衛隊車両色セットのOD色を使用しました。キャンバス部はアクリルタミヤのRLMグレイです。近年の車両のODは若干明るいのですが、その色調が良く表現されています。

基本塗装が終わった後に、サクラマット水彩マルチ絵の具でスミ入れし、表面を落ち着かせてます。公道を走っていると想定して、ウェザリングは控えめにしています。



キットでは省略されている箇所もあります。この後板のストッパーの鎖です。U字鋼に鎖につながれたストッパーを通して止め、その鎖には防音のためにキャンバスの筒が巻かれています。他のキットの鎖とマスキングテープで表現しました。若干不自然で満足できないのですが、それらしくはなったかなと・・・

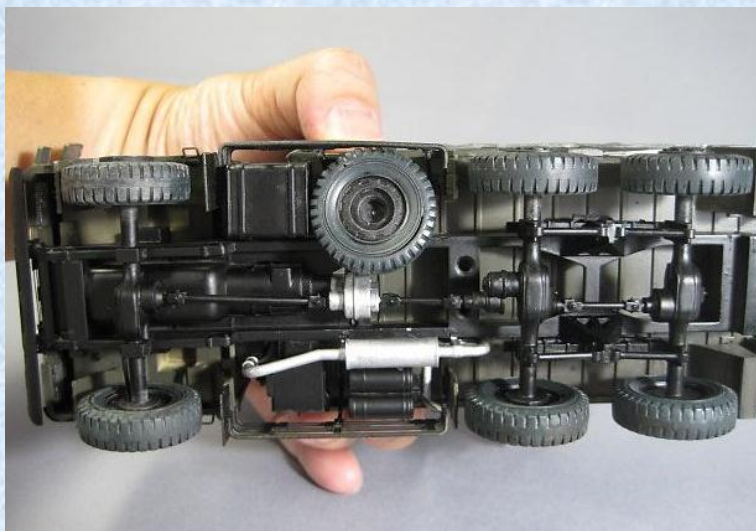


携行缶とラックは作り変えました。蓋の部分が他のキットから入手できなかったの、今後入手次第付け変える予定です。固定バンドはマスキングテープです。

車体後部の底板は、隊員の乗り降りや資材の積載・卸下により泥・埃が擦り付けられるように付着します。どうでしょうかね？感じが出てますかね・・



シャーシやサイドガードは全部フラットブラックです。タイヤはGSIクレオスのタイヤブラックです。光沢が若干出るので、ウェザリングスティックを擦り付けて濡れ綿棒で拭き取り、光沢を消しています。

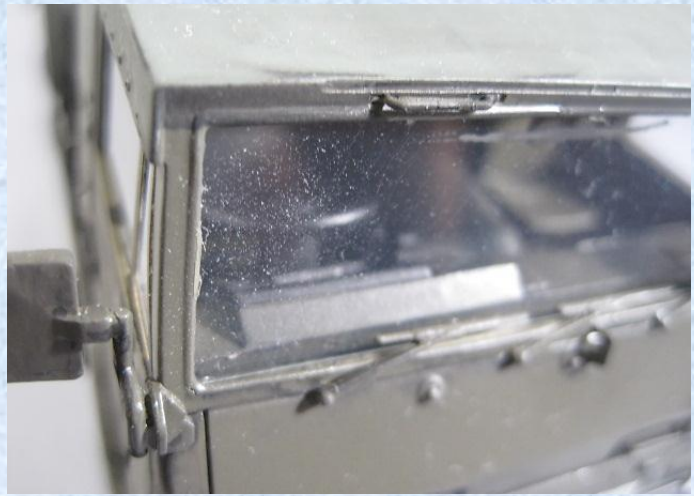
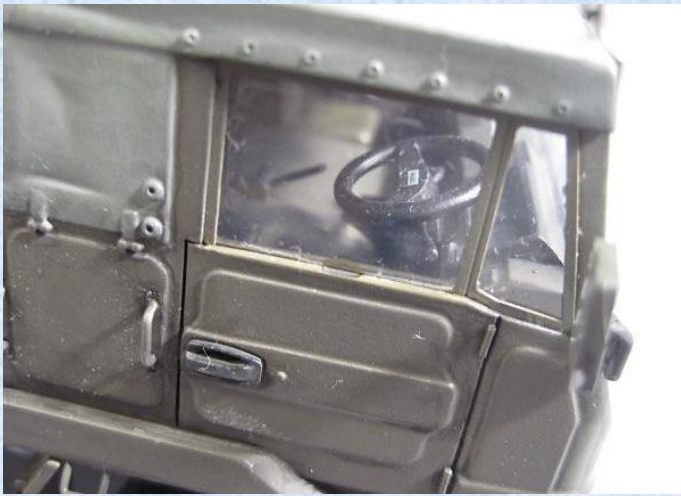


車体底部の状況です。よく取材されているのか忠実に表現されてます。

私もスマホを実車の下のもぐりこませて盗撮(笑)し、塗装の参考にしました。

悪い事しているわけではないのですが、周りを気にしながら撮影する私。そりゃそうですよ。普通、そんなとこ撮影しないって。

やはり実車が近くにあるのは恵まれた環境ですよ。駐屯地勤務だから出来ることです。



キャビン(操縦席)です。透明プラ版をきれいに接着するのはなかなか難しく、何回も仮組みし、部品大きさをあわせて、透明部品用の接着剤を少しずつ付着させ、一発で決めました。苦労したのに若干のはみ出しが見られます(泣)

説明書には無い色の区分についても実車を見ながら塗装しました。あまり分からないかもしれませんが・・・でも私は満足です！

シートの色はGSIクレオスのオリーブドラブ(1)を使用し、車体色との違いが出るようにしました。



私のコレクションの中でもかなりの高価なキットだったので、丁寧に作ったつもりなのですが、まだまだ省略している箇所があります。でも、完成させないとそのままお蔵入りしてしまうので、完成させることを優先しました。長々と書きましたが、参考にいただければと思います。

では、今回はここまで。またお付き合いください。